

## 取組内容

浜松は車、楽器、オートバイなど、魅力的な産業観光資源が豊富な地であり、名古屋とならぶ産業観光の草分け的存在である。地域にはホンダ創始者の本田宗一郎、ヤマハ創業者の山葉寅楠など、ものづくりDNAが色濃く継承されている。これらの産業資源やものづくり風土を活かそうと、2001年に「産業観光研究会」を立ち上げるとともに、2002年には全国産業観光フォーラムを開催し産業観光への取り組みを本格化させた。この地域には現在、約40カ所の産業観光施設があり、年間約120万人もの観光客が訪れている。

浜松地区に限定せず、中部広域地区の広域と連携したツアールートの開拓、中国瀋陽や大連など海外市場にむけた教育旅行・企業技術視察旅行等のプロモーション活動を続け、高い実績に繋げている。



<ヤマハ来客会館>



<東海旅客鉄道(株)浜松工場>

## 評価のポイント

浜松市は世界有数の産業集積地であり、その資源を観光交流面から評価・編集し、一般消費者へ上手にアプローチした結果、産業観光地域としてのブランドを確立し、年間約120万人もの観光誘客に結びつけた実績は高く評価できる。また、「音楽」という万人が共鳴できる観光資源の活用、「やらまいか精神」(何でもやってやろう)という精神風土・ものづくり風土を、観光地域づくりの活力として活かす手法も素晴らしい。

同時に、海外市場にむけた積極的なプロモーション、中部広域地区でのツアールート造成等の取り組みをいち早く取り入れ点は他地域のモデルとなる。